

令和元年（2019年）6月定例会・一般質問

【熱中症対策について】

◆大川秀徳

平成30年7月17日、豊田市で小学1年生が校外学習から戻った後、熱中症により死亡するという痛ましい事故が発生し、これを機に全国的に小・中学校の普通教室へのエアコン設置に向かう流れとなりました。本市でも空調設備についてのスケジュールを前倒しし、市内全13小・中学校に令和元年6月末までの整備完了を目指していましたが、全国的に同様な動きがあり、資材の逼迫や施工職人不足、施工中の児童・生徒の安全性を考え、夏休みを最大限に活用した設置計画に後ずれする見通しであると新聞で発表がありました。

先日の市議会協議会では、各学校には教育委員会において適切な熱中症予防の措置を検討しているとの報告がありました。お招きいただきました6月1日の常滑東小学校の運動会では、1人の児童が熱中症によって救急車で運ばれました。学校の迅速な対応で大事には至りませんでした。例年より早い時期から熱中症が危惧される中で、以下3点についてお伺いいたします。

質問1、5つの工事の入札が行われましたが、各工事の工期はいつからいつまでに変更になりましたでしょうか。

質問2、教育委員会において検討している適切な熱中症予防の措置とは、具体的にどんな措置を検討されましたでしょうか。

質問3、大人の目が不足してしまう登校時、下校時に熱中症になった場合どうすればよいか、児童・生徒への周知は徹底されていますでしょうか。

◎教育部長

近年、地球温暖化の影響によるものと思われる気温の上昇は、夏季に限らず、5月から10月にかけて異常とも言える暑さとなり、児童・生徒の学校生活における健康面への影響や学習環境の悪化が危惧されております。こうした中、本市において全小・中学校の普通教室へのエアコン設置工事に係る業務を進めているところでございます。

さて、1点目のご質問、各工事の工期がいつからいつまでに変更になったかについてでございますが、5つの工事につきましては、3月27日に入札を実施しておりますが、いずれも3月29日から8月30日までの工期で、特記仕様書の中で機器の設置は不測の事態がない限り、7月初旬に稼働できる状態とすることとしておりました。そのうちの3つの工事、鬼崎北小学校、常滑中学校の工事、大野小学校、鬼崎南小学校の工事、常滑東小学校、鬼崎中学校の工事につきましては、落札されましたので、工期の変更はしておりません。しかしながら、受注した全業者から、その後に資機材の入荷が間に合わないとの理由から、7月初旬の稼働は困難であるとの協議の申し入れを受けております。

また、残り2つの常滑西小学校、西浦北小学校、青海中学校の工事、三和小学校、西浦南小学校、小鈴谷小学校、南陵中学校の工事につきましては応札者がなく、入札不調になりましたので、4月24日に再入札を実施し、両工事とも落札されました。その結果、3月29日から8月30日までの当初の工期から、4月26日から9月30日までの工期に変更しております。

なお、市といたしましては、できる限り早く稼働できるよう、業者に働きかけを行っているところでございます。

次に、2点目のご質問、教育委員会において検討している適切な熱中症予防の措置につい

てでございますが、これまでも近年の夏の異常とも言える暑さを受けて、さまざまな熱中症対策を講じているところでございます。

まず、多くの学校で主観的な判断にならないように、熱中症指標計によるWBGT、暑さ指数の測定値をもとに、部活動や学校行事、PTA行事の活動時間の短縮や中止、あるいは内容の変更を行っております。

また、保健室や職員室に経口補水液や塩分タブレット、水筒のお茶がなくなった場合の補充用お茶を常備しております。

さらには、スポーツドリンクの飲用やネッククーラーの使用の許可を学校判断で行っているところもございます。

今年度につきましては、こまめな暑さ指数の確認による活動時間の決定、児童・生徒の健康観察の徹底や熱中症対策マニュアルの再確認と、それに基づいた対応の徹底等について実施するとしております。

さらに、市教育委員会では、各学校で行っている効果のある熱中症対策が広がるよう、各学校へ情報のフィードバックをしているところでございます。

最後に、3点目のご質問、大人の目が不足してしまう登校時、下校時に熱中症になった場合どうすればよいか、児童・生徒への周知は徹底されているかについてでございますが、登校時については、小学校は基本、集団登校をしておりますので、調子が悪くなった場合は、早目に班の仲間に伝えるように指導しております。その場から動けないような場合は、近所の人に助けを求め、学校または自宅に連絡をとってもらおうよう指導しています。

また、下校時及び中学校の登下校は、基本的に個人での動きになりますので、調子が悪くなった場合は無理をせず、まずはその場に座り、近くを歩いている友達の助けを求め、近所の人に助けを求めようよう指導しております。

また、助けを求められた場合は、無理に自分だけで対応しようとせず、近くの大人に助けを求め、学校または自宅に連絡をとるよう指導しております。

さらに、緊急の場合は救急車の要請も辞さないこともあわせて、指導を徹底しております。